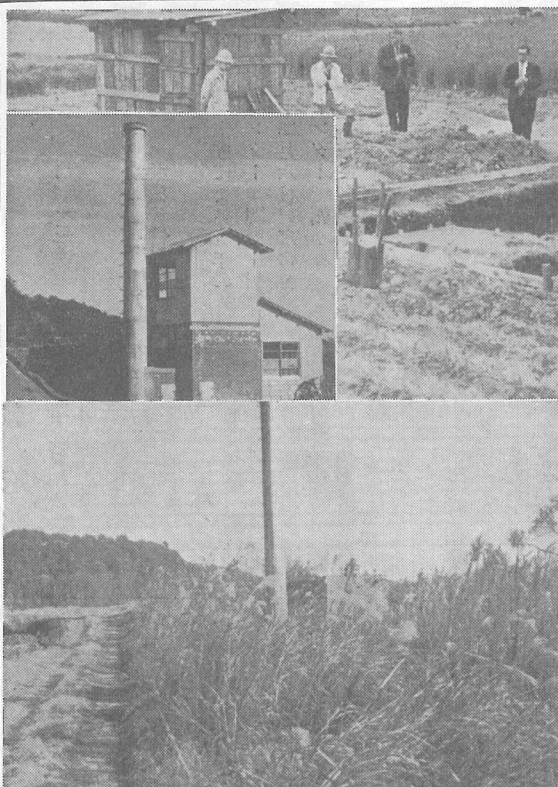


十年一昔 (その十二)

一両国渡しと焼却場跡境界

古川から於幾に通ずる道路が両国新田に掛ろうとする手前、栗山川堤の中を望見すると、栗山川堤の裾に一本の煙突が目につきます。その足下の枯草の中には、煉瓦造りの炉も見えていますが今は使っていないらしくてここ数年来煙突の煙が全く見えません。

これは、横芝町塵芥焼却場の跡なのです。いまから約十年前、ようやく物資が豊かになり、一寸と人家から離れた空地や道路の端等には、廃品やごみの無断投棄が続出し、



いくら禁止の標識を建てても無駄でした。そのうちに「何とかして欲しい」「何とかしなればならない」「町としても考えるべきだ」という話を持ち上り町議会でも議題として採択し町営の塵芥焼却場設置が決定されたのです。しかし、施設が施設であるだけにその場所の選定についての苦労は大変でした。当時、町議会の厚生常任委員として終始用地折衝等に尽力されたという大沢丈夫さん(古川)は、その当時の模様を「始めは、その当時の模様を「始め栗山の東町寄りに候補地を挙

げたのですが人家が近すぎるといので古川の砂取場に定めようとしたのです。ところがここは一二六号新国道に掛るので駄目になってしまいました。今度は東部土地改良一号用水路下辺りを物色したのですがこれも中止になりました。その中に古川地先に格好の場所があるというので調べて見ますと思いがけない近くまで住宅が建て込んで来ていたりして仲々思う様に行かず一時は中台の山の中という話も出た程でした。ようやく両国渡しというところに焦点を絞りましたが、建設用地は両国新田でも、そこ迄の路は古川になっておられます。この路がまた昔から古川地域には由緒ある路と考えられていたものから「ゴミ焼却場路にするのは忍びない」という住

横芝町教育委員会		横芝町選挙管理委員会		横芝町役場	
委員長	石橋 瑞夫	委員長	早川 恂	町長	椎名 登
委員	越川 一	委員	伊藤 壮男	助役	真行寺 勇
委員	伊藤 藤	委員	嘉瀬 源貞	収入役	土屋 直勝
委員	渡辺 祥嗣	委員	伊藤 貞男	総務課長	小高 猶次
委員	小沢 春光	委員	伊藤 貞男	企画課長	小高 猶次
委員	若梅 光儀	委員	伊藤 貞男	建設課長	川島 忠茂
委員	伊藤 藤	委員	伊藤 貞男	税務課長	石井 富雄
委員	伊藤 藤	委員	伊藤 貞男	産業課長	佐井 敏雄
委員	伊藤 藤	委員	伊藤 貞男	住民課長	佐井 敏雄
委員	伊藤 藤	委員	伊藤 貞男	老人ホーム院長	押尾 光雄
委員	伊藤 藤	委員	伊藤 貞男	老人ホーム院長	本間 重寿

謹賀新年